学校番号	４１４

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　数学Ⅲ　（数研出版）						
副教材等	新課程　クリアー数学Ⅲ＋C　（数研出版）、 新課程　チャート式　解法と演習 Ⅲ＋C　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学Ⅲの内容はⅠⅡABよりも高度な内容を扱います。基本的な事項を大切にして公式を覚えて使うだけでなく「公式の意味」や証明方法についても考えてみましょう。
・授業中に扱う課題は、まずは１人でよく考えて取り組みましょう。
さらに、自分の考えたことや理解したことを他人に説明することで理解が定着します。
・ノートは答えだけを書くのではなく、途中式や考え方のポイント等を必ず書くようにしましょう。解いた後は必ず答え合わせをし、自分がつまずいたところの確認を行うようにしましょう。
・理解できない問題はすぐに質問等をしてわからないまま進まないよう努力しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え 数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	関数	1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数	a: 分数関数の定義域や漸近線などについて理解し，簡単な分数関数のグラフをかくことができる。 b: 方程式や不等式の解と関数のグラフの関係を正しく理解し，それを無理関数に適用して方程式，不等式を解くことができる。 c: 方程式や不等式の考察に，積極的に関数のグラフを活用しようとする。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト
	極限	1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数 4 関数の極限 5 三角関数と極限 6 関数の連続性	a: 数列の極限について，不定形を解消するように式変形して収束，発散を調べることができる。 b: 数列の極限が簡単に求められない場合，はさみうちの原理を用いて極限を求めることができる。 c: 様々な数列について，n が大きくなるときに第 n 項がどのようになるかに興味をもち，積極的に調べようとする。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト
2学期	微分法	1 微分係数と導関数 2 導関数の計算 3 いろいろな関数の導関数 4 第 n 次導関数 5 曲線の方程式と導関数	a: 高次導関数の定義や表記を理解し，種々の関数の高次導関数を求めることができる。 b: 第 2 次，第 3 次導関数などを求めることで，一般の第 n 次導関数を求めることができる。 c: 陰関数の微分や媒介変数表示された関数の微分について，その簡便さを理解し，積極的に利用しようとする。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト

	微分法の応用	1 接線の方程式 2 平均値の定理 3 関数の値の変化 4 関数のグラフ 5 方程式, 不等式への応用 6 速度と加速度 7 近似式	a: 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 b: ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて, 平面図形や空間図形の性質を見いだしたり, 多面的に考察したりすることができる。 c: 事象を空間ベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト
3学期	積分法	1 不定積分とその基本性質 2 置換積分法と部分積分法 3 様々な関数の不定積分 4 定積分とその基本性質 5 置換積分法と部分積分法 6 定積分のいろいろな問題 7 面積と体積 8 道のりと曲線の長さ	a:不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め, それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。 b: 微分と積分との関係に着目し, 事象を数学的に捉え, 問題を解決したり, 解 決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察することができる。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度